

| 項 | 教育目標 | 重点目標 (努力目標) | 具体的な取組 | 取組状況・成果・課題 | 自己評価 (4点満点) | 学校関係者からいただいた 評価・意見等 | 改善策 ※左欄(学校関係者からいただいた評価・意見等) を踏まえた改善策には、下線 |
|-------------------------|---------------|---|---|---|---|---|---|
| 心豊かにたくましく生きる神戸の子供を育む | 夢や希望を育てる学校づくり | 一人一人に応じたきめ細やかな指導の充実 | 行事に意欲的に取り組む姿勢の育成 | 学校・学年行事に一人ひとりが積極的に取り組み、充実した活動ができた。 | 3.3 | トライやる・ウィークでは例年と比べ短い時間ではあるが、積極的に取り組んでいたと思います。 | 充実した取組が継続するよう、行事を通じて、一人ひとりをさらに大切にできる指導をしたい。 |
| | | | 規律を守り、規則正しい生活のできる生徒の育成 | 遅れて登校する生徒に対して個々にカウンセリングを行う等、指導を継続した。 | 3.1 | 遅刻する生徒はどれくらいいるのか、またその理由はどのようなものか気になります。 | 個々の生徒の状況に寄り添った指導を継続し、規則正しい生活ができるよう促していく。 |
| | | | 3年間を見通したキャリア教育・進路指導 | 高校の先生による進路講演会、講師を招いてのキャリア講演会、高校や職業について調べ学習を行った。 | 3.1 | 焦らずに、ゆっくり時間をかけて丁寧に指導することが大事だと思います。 | 様々な職業や進路について調べ、自分の適性を知り、将来を見据えた進路指導を行う。 |
| | | 確かな学力・豊かな心・健やかな体の育成 | 学習計画の目標達成に向けた取組 | 学習クラブ、質問教室、家庭学習ノート等、基礎学力を定着する取組を行った。 | 3.1 | 家庭学習ノートは学習に関するだけでなく、生徒の悩みを書き、それを伝えること等、活用用途が多い。今後も続けていってほしいです。 | 学習支援ツールを十分に活用し、水曜日の放課後学習クラブをより有効に活用する。 |
| | | | 元気なあいさつができる生徒思いやりと感謝の心の育成 | 生徒会、風紀委員によるあいさつ運動、奉仕活動、早朝ボランティアを実施した。 | 3.0 | 去年と比べて、あいさつする生徒が増えたように思う。思春期で恥ずかしさもあると思います。 | 生徒が自主的に取り組む活動がさらに活発になるよう、教師による率先垂範、声掛けを行う。 |
| | | | 部活動・委員会活動への自主的参加の支援 | 委員の仕事を選ばせ、生徒会の負担を減らすことで、生徒がより自主的に活動に参加しやすい環境を作った。 | 3.2 | 生徒一人ひとりに役割を分担し、責任感を持たせることが大切だと思います。 | 部活動と生徒会活動の両立ができるよう、さらに仕事を改善、効率化し、活動時間を確保する。 |
| | | 生きる力の基礎となる「言葉の力」の充実神戸らしい教育の充実 | 命を守る防災教育の推進 | 避難訓練は火災想定(8月)と地震想定(1月)で2回実施した。生徒は真剣に訓練に取り組んでおり、集合点呼なども素早く行えた。防災教育は阪神淡路大震災の教訓を風化させないよう学年ごとに視聴覚教材も活用しながら実施した。 | 3.3 | 生徒の自死事件の数が増加していることが気になる。マスコミが騒ぎすぎる傾向にある。自己肯定感を高める指導が大事だと思います。 | 震災の教訓から命の大切さを伝えていく活動を行うとともに外部からの講師を招いてより広い視点に立った防災教育をすすめたい。 |
| | | | 言葉の力を育てる学校図書館の活性化 | 学校司書を中心に生徒の読書環境の整備が行われ、また放課後開館により学習センターとしての役割を果たした。 | 3.2 | 特になし | 学校司書を中心に、学校図書館を教育活動の要とし、各教科での図書館活用が活発にされるよう、学校司書と連携をさらに深めていく。 |
| 安全・地域・安心で共に楽しい学校づくりを築き、 | 力強い学校 | 職員研修等を通して個々の教員の資質向上を図り、授業力の向上を目指した取組 | 職員会後の職員研修、必要に応じた研修を計画的に行うとともに、情報を共有し組織力の向上に努めた。年2回の授業研究旬問を設け、授業力アップを図った。 | 3.0 | 特になし | 職員会議での研修内容を充実させたり、外部から講師を招いたりして、個々の力を伸ばし、組織力を高める取組を継続する。また、授業研究旬問を通して、それぞれの改善点が明確になるよう、情報を共有する。 | |
| | | | 安全・安心で楽しい学校づくりに向けた環境整備 | 校舍等の老朽化が目立つ。一部教室の黒板や冷暖房設備など授業にも支障をきたすレベルのところもある。 | 2.9 | 生徒の安全確保のため学校だけでなく、地域からの整備依頼も必要と感じます。 | 教育環境の改善を要求していくと同時に学校現場としても安全点検を毎月実施するなど職員の安全意識の向上を図る。 |
| | | いじめ防止基本方針に基づくいじめ防止対策に関する取組(いじめ問題対策委員会) | 学校生活をよりよくなるアンケートやSTノート、学期に1回の教育相談から、いじめの未然防止、早期発見ができた。 | 3.4 | 悩みを抱えている生徒が教師に気楽に打ち明けられる雰囲気づくりが大切だと思います。 | 教師の支援はもちろん、関係機関と連携を継続して、問題の改善に取り組む。 | |
| | | 業務改善と働き方改革への取組 | 会議の効率化や校務の電算化を図り、業務改善と働き方改革への取組を推進し、生徒に向き合う時間を増やした。 | 3.3 | 生徒が下校後も校区内を巡視して頂き、助かっている。 | 働き方改革を継続していく必要がある。会議の精選と事前準備による時間短縮。KIIF回覧板の活用等でペーパーレス化もさらに促進する。 | |
| | | 教育活動の評価・改善と情報発信の充実 | 学校だよりの配布を月末に行い、保護者に少しでも早く行事予定が伝わるようにした。ホームページは、行事に限らず普段の授業風景等多く発信した。地域との会議に定期的に参加し、情報共有を図ることができた。 | 3.5 | 毎日のように更新していただいていた。たくさん画像がアップされていて、見て楽しい。 | 学校評価を適切に行って、課題を見つけ、解決に取り組む、次年度に生かす。情報発信については、学校だよりのホームページともに好評なので、次年度もさらに改良を加え継続していく。 | |
| | | 学習時間確保に向けた取組 | 水曜日(部活動休業日)に7校時を設定、始業式の午後授業を行うなど計画的に学習時間確保に向け取り組めた。 | 3.3 | 2か月間の臨時休業中の授業時数の確保が気になっていた。7時間目まで授業していただいて、ありがたいと感じます。 | 来年度も感染拡大の状況により授業を行えないことを想定し、水曜日の運用を今年度同様とすることが必要と考える。 | |
| | | ふれ懇・青少協・陵友サポートチームとの連携強化地域行事・ボランティア活動への積極的参加 | 登下校時の巡視は多くの職員で実施した。コロナ禍で地域行事への参加がほとんどできなかった。 | 3.1 | コロナの影響で地域行事が中止となり、大変残念に思います。しほらくは、実施できそうにないが早く以前のようになれば良いと思います。 | 今後も地域と情報を共有し、継続して連携していく。下校指導時の巡視活動も継続する。 | |